

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、26～30 台を示し、やや高め～かなり高めでした。

〔漁況概要〕

中小型まき網---西彼地区ではマイワシなどが1日1統当たり2.5トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。北松南部地区ではマイワシなどが1日1統当たり1.6トンの水揚げで前週並み（前年並み）。

イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり2kgの水揚げで、前週の6.7%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり34.5kgの水揚げで、前週の6倍（前年を上回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり5.3kgの水揚げで、前週の7.9%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり3.8トンの水揚げで、前週の3.6倍（前年並み）。

定置網----五島魚目地区では、今期の漁が再開されシイラなどが1日1統当たり1.4トンの水揚げ。対馬東岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり30.4kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、イサキが1日当たり4.7kgの水揚げで、前週の1.8%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/5～9/9の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆付近で操業。赤イカは北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖で操業。鳥取県西部（沖合船）は、4日延23隻、総計2,306箱、1航海最高246箱、平均100.3箱。スルメイカ（20～25入）339箱、ケンサキイカ（2～4立）1,967箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>